

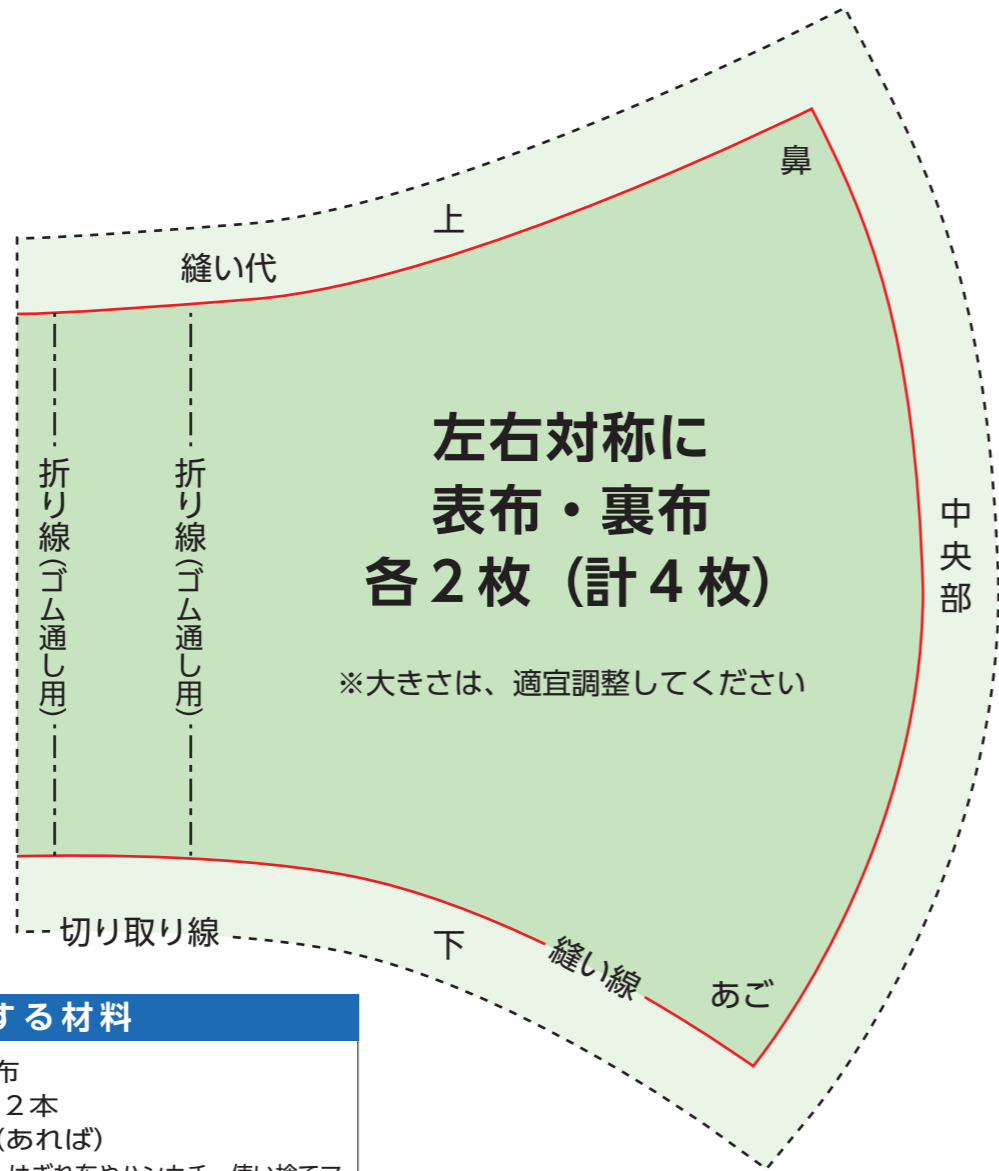
布製立体マスクの作り方

作業の目安
手縫い：60分
ミシン：30分

マスクが手に入りづらい状況が続いています。
手作りする上での型紙と作り方の一例を紹介します。

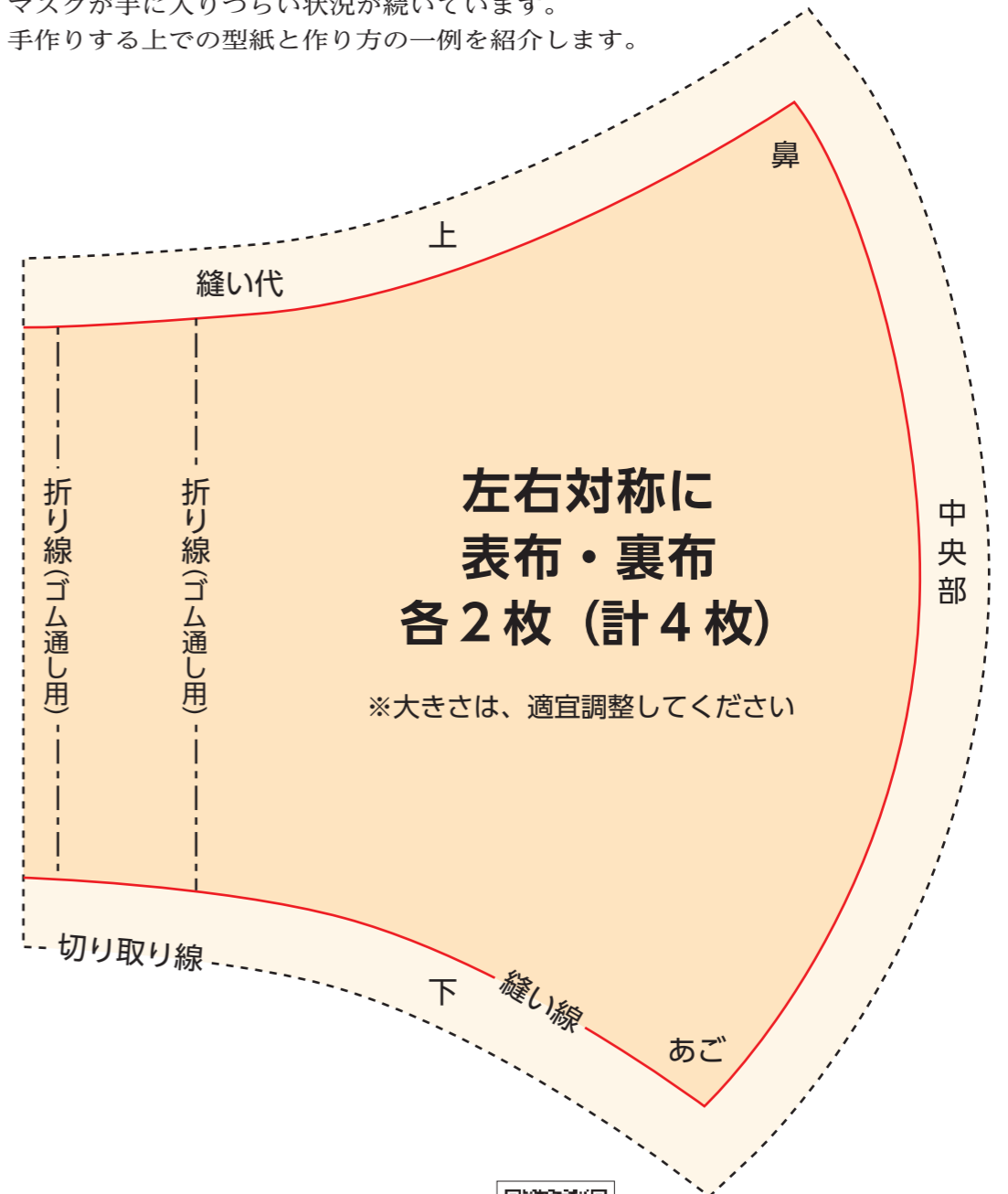
子ども向け

型紙 (実物大)



大人向け

型紙 (実物大)



用意する材料

- ①マスクの生地となる布
 - ②30cm程度のゴムひも2本
 - ③鼻部分の形状保持材(あれば)
- ★材料が手に入りにくい場合：はぎれ布やハンカチ、使い捨てマスクのゴムひも部分の再利用、ヘアゴム、細いひもなど手に入る材料で代用できます。ひもは布で手作りしても使えます。

※布製マスクの作り方の動画解説や洗い方(経済産業省ホームページ)は市ホームページからご覧いただけます

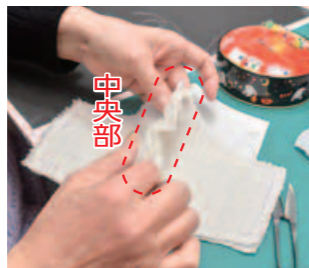


1

型紙を布にあてて印を付け、左右対称になるように布を切る(表布・裏布分の各2枚、計4枚)。2枚の表側を中(中表)にして合わせて中央部を縫い、縫い代に切り込みを入れて開いておく。



布の裏側に型紙を置き、線を書く



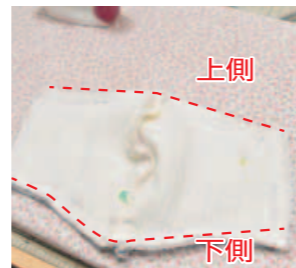
中央部を開いてアイロンをかけるとよい

2

裏布も1と同様の手順で作る。出来上がった表布と裏布の上側(鼻側)と下側(あご側)を合わせて中表にする。上側、下側を縫う。



表布と裏布を中表にして合わせる



上側と下側を縫う

3

縫っていない左右いずれかの一辺から、布を表に返す。仕上げに上側は10mm、下側は5mmを目安に布端を縫う。形状保持材を入れる時は上側を通して両脇を縫い、固定させる。



表面が出るようにひっくり返す



布端を縫うことで、強度が増す

4

最後に、左右両側を三つ折りにして縫い、ゴムを通して出来上がり。



折り線に沿って三つ折りにし、縫う

ゴムを通す代わりに、マスクの四隅にゴムやひもを縫い付けても大丈夫です。



完成!